

3 みちを大切にしよう! ● みちを直す

みちを直すといっても、こわれところを直すだけでなく、掃除も必要なことです。また道路脇の木の伐採や水路の掃除といったことも、大変重要なのです。

みちを直しているようす



歩道の柵を直す



水路にたまったゴミを掃除する



それじゃあ、
どうやって
みちを直すの?

こうやって
みちを直すんだ

みちを直すあいだに、
事故が起きないように
することも大切なんだよ。

道路だけじゃ
ないんだ…。

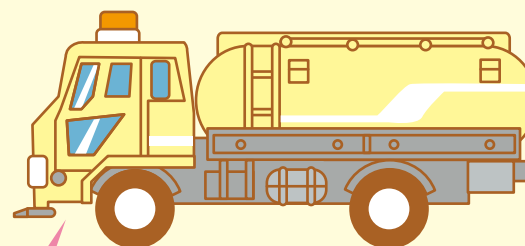
知らな
かったね。

これは
何を
する
車なの?

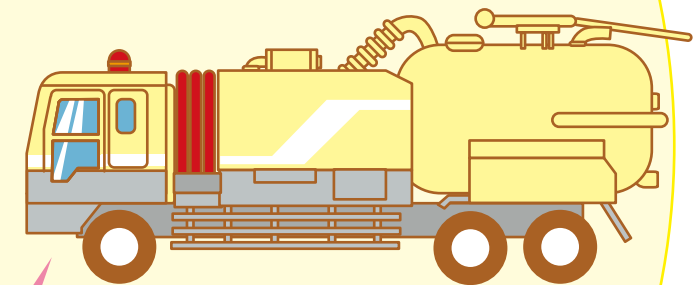
あれはみちの掃除をする車なんだ。
いつもはみんなが寝ているときに
掃除をすることが多いんだよ。

へーっ。
知らなかったなあ。

清掃車のいろいろ



散水車
汚れた道路に水をまいて
きれいにします。



側溝清掃車
道路横の管などがつまらないように、
たまった土砂やゴミを吸い取ります。

路面清掃車
道路にたまったゴミや土砂をブラシできれいにします。



「造る」と「守る」

道をこれから造るのは、関係者の知識と技術で設計、築造し、これからの生産所得を向上させる為に行うものであり、守ることは、得ている所得の損失を防ぐことであります。従って維持従事者は、このことを十分認識することが大切です。

道路施設と機能を守る方法には多くの方法があります。壊れてから補修する対象維持、破損を予測して補修する計画維持などがありますが、維持費と損失を考慮し、総合費用が少ない方法を選択する必要があります。

■道を作る

人は移動するために道を造ります。造る道は道の役割を決め、その役割を効果的に発揮できるように機能を決めます。従って効果的な道路にするため設計の期間を、その期間内で、道路を維持管理する管理者と道路の利用者にとって、最大の効果を上げられるように、造る技術者の最新技術を駆使して設計します。

道路の必要性が決まれば、道路の用地を取得し、用地の地形と道路の目的を考慮して、自然景観にマッチするような線形を設計します。

平面配置が決まると構造設計の基礎となる現地の測量を行います。測量の結果により平面配置を変更することもあります。問題がなければ、道路法に示された道路の規格に合うように設計施工し、安全で確実な道路を造ります。

■道を守る

道路は、造った時点から気候や地震などの自然現象と通行により、常に機能が低下します。例えば、使わない道路でも、亀裂が発生したり、簡易な道路になると交通の作用がないために材料が劣化することもあり、使用したいときに使用できないこともあります。この道路の機能を再び発揮させるには造るより高くなることがあります。このようなことを避けるために道路は常に機能を維持する作業を行う必要があるのです。

維持従事者が設計施工していれば維持作業は割合容易に理解できるのですが、通常は設計者と異なっているので、対応する技術と方向の相違、そしてもっと重要な使っている道路上で対応するために造るよりは困難な作業となります。その上、新設に比べ華々しさがありません。

■補修作業の概念

道路は一般交通のための施設であり、絶えず交通ときびしい気象作用を受けるという悪条件にさらされています。

道路の使用が多くなると、社会的要請も強くなり、その不備により管理瑕疵の責任を問われる事例も年々増加しています。また、道路という貴重な社会資産の保全と経済的運営を行うために時期を失することなく、適切な維持修繕を行って常に道路を良好な状態に保ち、道路資産の老朽化や損耗を避ける必要があります。

また、騒音や振動等に対する沿道の生活環境の保全を十分考慮して、維持修繕の時期、工法の選択を行う必要もあります。

以上の観点から、維持修繕に従事する者は次の3点を特に心掛ける必要があります。

- 道路の欠陥、破損を生じる原因を除去し、それらを未然に防ぐように配慮する。
- 道路の欠陥、破損を早期発見することに努め、

必要に応じ応急措置を行うとともに、時期を失せずに復旧措置を講ずるように配慮します。
●作業を行う場合には、交通に与える障害および沿道生活環境に及ぼす影響に留意します。

補修作業に使用する維持作業車は、路上で作業を行うので、道路交通法には維持作業のための除外規定があります。

舗装は、交通、気象条件等の作用を常にうけ、また舗装自体の老朽などにより、放置しておけば供用性が低下し、やがては円滑かつ安全な交通に支障をきたします。これを防ぐためには常に路面の状態を把握し、適切な補修を行うことが肝要です。

- 舗装補修の目的は次の三つに大別できます。
- 耐久性を確保し、構造機能を保つ。
 - 走行性を確保し、安全と快適性を保つ。
 - 舗装に起因する沿道環境の悪化を防ぐ。

補修作業は、舗装の耐久性や構造機能の低下を招かないよう適切な時期に実施します。

